

2012.11

第104号

# 社協だより

福祉わくや

## 花からつながる、わくやの笑顔



### ボランティアの日「花壇整備・花植え活動」(10/30)

涌谷町ボランティアの会の皆さんが、恒例となっているゆうらいふ前の花壇の植え替えをしました。きれいに咲いているお花を散歩しながら見に来てください。

### ◆◆◆ 第104号の主な内容 ◆◆◆

- ★平成24年度福祉作文・ポスター・標語コンクール受賞作品紹介……2
- ☆Pick up社協事業……4
- ★地域ふれあい活動紹介コーナー……5
- ☆ボランティアセンター通信……6
- ★「わくや」のみらいを育てましょう……8
- ☆ゆうらいふ通信……9
- ★各種お知らせ等……10

編集・発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 涌谷町社会福祉協議会

〒987-0121 宮城県遠田郡涌谷町涌谷字新下町浦192番地  
涌谷町高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」内  
TEL(0229)43-6661 FAX(0229)43-6670  
E-mail:shakyo@wakuya-sfk.net

ホームページ: <http://www.wakuya-sfk.net/>

# 平成24年度福祉作文・ポスター・標語コンクール

作文の部

最優秀賞

今年も町内小・中学校児童生徒のみなさんからたくさん作品が寄せられました。みなさんから寄せられた作品はゆづらいふに展示しています。広報では最優秀作品を紹介します。(敬称略)



涌谷第一小学校五年

藤崎 舜也しゅんや

## 「同じ仲間として」

ぼくが「支援」という言葉の意味を、本当に理解したいと思ったのは、昨年、四年生の時に、授業で行った「キャップハンディ体験」の時からです。

その時ぼく達は、目かくしをして歩いたり、車いすに乗って動いたり、障がい者の立場になり、障がい者の身になって、その生活が、どれだけ大変なのかを体験し、実際にどんな支援が必要なのかを考えました。体験したのは、ほんの数分間だけでしたが、ぼくは、目が見えない事の恐怖や、足が使えない事の不便さをおそろしいほど実感する事ができました。

しかし、どれだけ体験しても、実際に、毎日そのような生活をしている人達の苦労は想像すらすることができません。それと同時に、いろいろな疑問もわいてきました。

(少しの時間でも、これだけ大変なのに、毎日

をどんなふうにくらしているのだろうか。)

(学校や仕事はどうしているのだろうか。)

(出かける時などは、バスや電車は使えるのだろうか。)

(災害時にはどうやって避難するのだろうか。)

そして、ぼく達は、それらに対して、どういう形で支援をしていけばよいのだろうかという事も考えました。

これまでのぼくは、車いすの人や、目や、耳の不自由な人がいても、手を貸す事はおろか、声をかけることすらできませんでした。気にならなだけで声をかけられない；なぜならそれは、どう話しかけてよいのかわからなかったからです。

ある日、特別支援学校に通う女の子が書いた手記を読む機会がありました。そこには次の事が書いてありました。

障害者の人達と上手に接するにはまず、その人達を理解する事。

特別な目で見ることなく自然にかかり合えるようにする事。

障害者の人達に話しかけたり、ふれ合ったりする事は大切だという事です。そして一番印象に残った言葉が、「私達障がい者は不自由なところ

があるだけで何もできない人ではありません。」という言葉です。

その手記を読んで、ぼく達の中にも、勉強が苦手な人やかけっこが遅い人、はずかしがりやな人や細かい作業が苦手な人などがいます。それと同じで障がい者の人も、ほんの少し足が不自由なだけだったり、ほんの少し耳が聞こえないだけだったり、ほんの少し不便なだけで、ぼく達と何も変わりはないのだと思いました。健常者や障がい者という名前の意味だけで区別してはいけないとも思いました。そして、同じ仲間として生活していく上で、ぼく達にもできる支援を見つけていこうとも考えました。それにはまず、相手が本当にしてほしい事を理解しなければなりません。やりすぎの支援は、ただの「おしつけ」になるからです。例えば、道路にはみ出している障がい物をよけるだけで、車いすの人は楽に通行することができるようです。

耳の不自由な人には「音が見える」ように、口を大きくあけて、ゆっくり話したり、筆談したりすることで、スムーズに会話をする事ができるそうです。そのどれもが、当たり前で簡単な事でもあり、当たり前だけど難しい事でもあります。

これから未来に向けて、よりよい社会を作っていくために、同じ地域、同じ日本、そして同じ世界に住む同じ仲間として、たがいに支援し合い、手を取り合って生活していかなければならないと思います。

何よりも、ぼく達はみんな、同じ仲間なので

ポスターの部

最優秀賞



小里小学校六年

松岡 美羽



標語の部

最優秀賞



涌谷中学校一年

千葉 大和

『差し伸べる』

その手が福祉の

第一歩』

(最優秀ポスター・標語は印刷して町内各所に掲示します。)

入選児童・生徒の紹介

(敬称略)

福祉作文コンクール

◎最優秀賞

「同じ仲間として」

涌谷第一小学校五年

藤崎 舜也

◎優秀賞

「点字・音訳体験に参加して」

涌谷第一小学校六年

氏家 菜緒

「思いやりあふれる社会」

涌谷中学校二年

本間 彩

◎優良賞

「二人のおばあちゃん」

月将館小学校五年

高梨明日香

「聴覚障害への理解を求めて」

涌谷中学校三年

川村 愛花

福祉ポスターコンクール

◎最優秀賞

「ふくしのつながり『絆』」

小里小学校六年

松岡 美羽

◎優秀賞

「ひろがれ ふれあいの輪」

涌谷第一小学校六年

氏家 菜緒

◎優良賞

「お年寄りを大切に」

小里小学校三年

木村 剛工

「やさしい心」

涌谷第一小学校四年

後藤 由佳

福祉標語コンクール

◎最優秀賞

「差し伸べる その手が福祉の 第一歩」

涌谷中学校一年

千葉 大和

◎優秀賞

「おもいやり やさしいこばを ぶれぜんこ」

涌谷小学校一年

秋山 拓弥

「思いやり つなぐ広がる 地域の輪」

涌谷中学校一年

阿部 祐也

◎優良賞

「ありがとう いわれた ほくも うれしいな」

小里小学校一年

米倉 颯太

「思いやり 勇気を出して 手をかそう」

涌谷小学校六年

大森 あみ

「思いやり 支え合ひこそ 金メダル」

涌谷中学校一年

浅野 菜摘

受賞おめでとうございます。(敬称略)

長年の地域での活動に対し、表彰・感謝状を授与された方々を紹介致します。

◎第9回赤い羽根大会(10/31) [仙台市民会館]

★宮城県共同募金会会長表彰

松田 新平(6区)

★宮城県共同募金会会長感謝状

上野 博(1区)

矢島 宣智(4区)

木村 博(上町区)

小野 秀一(岸ヶ森区)

◎第58回宮城県社会福祉大会(11/7) [名取市文化会館]

★宮城県知事表彰

久道 みさこ(5の2区)

伊藤 雅一(脇区)

★宮城県社会福祉協議会表彰

澤田 卓三(4区)

大澤 栄助(短台区)

佐々木 千代志(9の2区)

パンダの会

メルヘンの会おもちゃ図書館

あけぼの会

本間 ひさ子(9の2区)

★宮城県社会福祉協議会会長感謝状

アルプス電気(株)涌谷工場

アルプス電気(株)労働委員会わくや支部

涌谷町芸能ボランティアの会

◎平成24年度全国社会福祉大会(11/16) [日比谷公会堂]

★中央共同募金会会長表彰

大川 直行(長根区)



## ●●● Pick up 社協事業 ●●●

子育てサロン

### 『ほっとママ』 (9/27開催)

今年度第1回目の『ほっとママ』を開催しました。

『ほっとママ』は、産後のお母さん支援として新生児のお母さんを対象にした子育てサロンで、今回は8組の方が参加しました。

お母さんの半数が第一子の出産ということで、子育ての先輩であるエプロンおばさんから子育てのアドバイスを受けたり、お母さん同士で自由懇談を楽しみました。また、町の保健師の講話では、「予防接種」について教えていただき、お母さん達は真剣に耳を傾けていました。

子育て真っ最中の仲間とのおしゃべりは、気持ちも心も“ほっと”なひと時になりました。



次回は、  
3月も予定  
しています。

子育て支援事業

### 「エプロンおばさんと遊ぼう広場」

inののだけ (7/12開催)

たくさんの方に事業を知っていただくために、地域に出向いて「エプロンおばさんと遊ぼう広場」を開催しました。

会場の箕岳公民館には、箕岳地域からの参加者をはじめ町内からたくさんのお友達が集まってくれました。子どもたちの自由遊びを見守りながら保護者の皆さんも楽しく懇談をされていました。エプロンおばさんによるリトミック体操やパネルシアターなどお楽しみメニューもあり楽しい時間となりました。

この移動開催を機に、ゆうらいふで開催している「エプロンおばさんと遊ぼう広場」に参加して下さる方も増え、毎週元気なちびっこたちで会場が賑わっております。

★開催日:毎週木曜日 ★場 所:ゆうらいふ「研修室」  
★時 間:10:00~11:30 ★対 象:未就学児と保護者



仲間作り・  
遊び場・子育て  
相談の場として、  
お気軽にご参加  
くださいね!



## 『脳力アップ倶楽部』 (町受託事業)

「住み慣れた地域で家族や友人たちと幸せに暮らしていきたい」と思うのは誰もが持つ当たり前の幸せです。そんな幸せな生活を困難なものとする一つに「認知症」があります。

涌谷町社会福祉協議会では、地域の皆さんと脳トレゲームや昔語りをしながら楽しいひとときを過ごす中に回想法などの手法を組み込むことで、楽しみながら脳を鍛え、認知症を予防する講座を行っています。

脳力アップ倶楽部では、ご依頼のあった地域に専門スタッフを派遣しています。内容・時間等についてはお気軽にご相談ください。



楽しみながら  
脳を鍛える  
ヒントがここに!!



# 地域ふれあい活動紹介コーナー

<地域から提出して頂いた報告書（レポート）等を掲載しています。>

## 下町区「お茶っこ飲み会」

7月2日(月)

ボランティアさんによる歌とゲーム、ミニ講話、リズムダンスと、とても楽しい1日でした。具だくさんのそうめんや漬物等を「とても美味しかった」と言ってもらえたので、作りがいがありうれしかったです。



## 城山区「世代間交流会」

7月7日(土)

当日は雨にもかかわらず、例年通りの参加人数でした。各自、スカットボール、ペタンクに挑戦しました。スカットボールは全員で得点を競い、優勝者にはトロフィーが授与されました。参加賞も準備し、配付しました。また、世代間交流に続き、生活習慣病予防教室も行いました。



## 上郡2区「生活習慣病予防教室」

7月15日(日)

健康推進員と福祉推進員の合同で生活習慣病予防教室を行いました。減塩指導に血圧測定、健康を保つための体操と充実した1日を過ごすことができました。



## 2の3区「七夕祭りお茶っこのみ会」

7月29日(日)

7月末という暑い時期での行事を企画したので、参加者が熱中症にかからないようクーラーで冷やしました。とても暑かったのでお茶を飲みながら菓子を食べたり、軽い運動をしたり楽しく会話をし、ゆっくり七夕作りをしました。

委員の方々は8種類程の飾りを準備し、小さな笹竹に1人ずつ短冊に願い事を書いたりしてとてもきれいな七夕飾りが出来ました。その後、民謡や昔なつかしい歌で手踊りが自然と出たり、楽しく過ごせた様子で帰りはニコニコ顔で喜んでいただきました。



## 4区「敬老ミニデイ」 9月14日(金)

今年は9月になって暑い日も続き心配していたところ、思いの外皆さん元気で参加していただき嬉しく思いました。自治会長の挨拶で会が始まり、推進員のウクレレ伴奏と司会で合唱や歌でカラオケいらすでした。また推進員の手料理も美味しく、赤飯で祝いました。



## 短台区「お茶っこ飲み会」

10月21日(日)

ボランティアグループ「ミラクル手品」に来ていただき、お茶っこ飲み会を盛り上げていただきました。今回は特別にミラクル手品の皆さんの参加した方にコインを消す手品を1つ教えていただき、みんなで楽しむことができました。





# ぼらんていあさんが通る



## ボランティアセンターみんなの学校

### ◇災害救援福祉マップの更新 7月3日・6日 ゆうらいふ 研修室

平成12年から、各行政区の行政区長・民生委員・地域福祉会長(社協評議員)3者の協力により災害時の要援護者支援を目的に救援マップを作成し、毎年、更新作業を行っています。3者で情報を共有することは、いざという時の自助・共助・公助について大きな意義があります。

昨年の東日本大震災では、地域内の3者の自助・共助を意識してか、要援護者や被災住民に対し積極的な救援、支援活動が実施されました。



### ◇ボランティア講演会 7月27日 医療福祉センター 研修ホール

「女川町災害ボランティアセンター活動の5ヶ月間～雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモマケズ 夏の暑サニモマケズ～」と題し、現在は女川町生活支援相談員をしている2人の青年で、大阪府出身の矢竹さんと群馬県出身の伊藤さんに、お話をいただきました。



#### 《参加者の感想》

◎ボランティアについて再度、考える機会となった。◎ボランティアとは？いつも、理解できないでいたが、今回の話を聞いて、自分なりに始めようと思った。◎大変参考になりました。「共に生きる」私も誰かと共に生きたいと思います。◎ボランティアに参加する心構えや準備、現場ニーズの見極めの大切さを感じた。◎若い二人でしたが、今の日本人の若者が全部とは言えませんが、二人のような考えのある人がいる限り日本は大丈夫。感謝です。

### ◇バルーンアートボランティア養成講座 7月31日, 8月7日

日向区の安部公子さんを講師に、15名の方が受講しました。講師の安部さんは、昨年の東日本大震災後に、自分でできる活動という事で、バルーンアートを自主学習して技術を身につけ、沿岸部を中心に活動をしています。9月30日には受講生と一緒に陸前高田市のイベントや、10月27日にはJAみどりのふれあい祭で参加した子供達に、希望するバルーンをプレゼントしました。



◇**出前講座** 福祉教育の推進を目的に、小学校での体験学習（キャップハンディ体験）を実施  
 学校からの依頼により、総合的な学習の時間に、福祉の講話や体験学習の  
 出前講座を実施しています。

涌谷第一小学校4年生【87名】 8月13日・17日・18日  
 視覚障害・下肢障害体験

<生徒の感想>

◎障がいのある人を今までは、関係ない人と思っていたけど、今日を機会に、関係があるんだなと思いました。◎障がいのある人も、ない人も、同じ生活しているんだなあと思いました。



見えなくても臭いや手ざわり、  
 形で何かわかるよ。

小里小学校4年生【12名】 7月3日  
 下肢障害体験

<生徒の感想>

◎足が悪くても、車椅子を使えば  
 移動できるんだね。



涌谷中学校3年生【129名】 10月18日

福祉講話・・・「自分の頭で考えよう」と題し、身近な福祉について考える機会となったようです。



相手の気持ちを  
 考えること、  
 傾聴の大切さが  
 分かりました！



**ボランティア活動 大きな手 小さな手**

ボランティア養成講座の受講生、地域で活躍中！

- ① 絵手紙ボランティアグループ“クローバー”《平成19年度に受講し、グループ結成》は、町の敬老会において満90歳の方へ絵手紙や、ゆうらいふ入居者への誕生カードを贈っています。新たに8月からは、グループホームゆうらいふに入居されている方々と絵手紙を通じて交流をしています。
- ② 避難者支援として毎月1回開催している淡島サロン“ふらっと”において昨年、傾聴活動やボランティアとしてのマッサージを学んだ受講生が継続して、サロンの参加者と交流を深めています。
- ③ 町民の皆様から、ご協力いただいたプルタブ（7.58kg）を、福祉の為に役立てようと収集している涌谷第一小学校にお届けしました。



# 「わくや」の未来を 育てましょう。

社協で行った福祉人材の養成講座や各教育機関からの依頼により実施した職場体験、現場実習の様相など寄稿を交えてご紹介します。

## 職場体験学習 10月11日・12日

涌谷中学校 2年 平 莉音

職場体験の2日間を通して学んだことは、人のかわりです。最初は、私はあまりしゃべらないので、お年よりの人たちとちゃんと話しができるか、不安な場面もあったけれど、しっかりとお話しができたので良かったです。お手玉作りや、紙玉作りなども体験したし、昼食の準備も手伝いました。

ちゃんとできるかどうか考えたこともあったけれど、どれもしっかりやれたことがよかったです。自分の今後の生活の参考になったと思うし、学んだことをいかしていきたいと思います。



## 職場体験 10月18日

涌谷高等学校 1年 石澤美咲

職場体験では、おじいさん・おばあさんと話をしたり、リズムに合わせて体操をしたり、配膳準備をしたりなど、様々な体験をさせていただきました。

この体験を通して、私は自分の課題について考えました。

たとえば、話をする際、おじいさん・おばあさんは耳が聞こえにくいので大きな声で話さなければならぬのですが、それができませんでした。その反面、任された仕事は進んでいき、自分なりに何事にも一所懸命取り組むことができました。

今回の体験全体を通して、話をする時には、大きな声ではっきりとすることが大切であるということに気づきました。また、紙芝居を読み終えた時、おじいさん・おばあさんに「ありがとう」と言われたことがとても嬉しくて、紙芝居をして良かったと思いました。

私は自分の目標である「介護福祉士」という目標を達成するためにも勉強に励み、積極的にボランティア活動などにも参加したいと思います。

体験を通して、うまく行かないことも多く、ご迷惑をおかけしましたが、たくさんのお話を学ぶことができました。お忙しい中ご指導いただきましたことに心から感謝いたします。



## 平成24年度 社会福祉援助技術実習

「実習を終えて」

東北福祉大学 4年 星 美由紀

私は、涌谷町社会福祉協議会で7月2日から8月3日までの1カ月間、実習させていただきました。

社会福祉協議会が行っている事業、サロン活動、ボランティアセンターの運営等に関わらせていただき、これらは私にとって職員の方々や地域の方々の生の声を聞く貴重な経験となりました。

1カ月の実習を通して強く感じたのは、地域福祉を推進していく上で主体となるのは涌谷町で暮らす住民の方々であり、この町で誰もがいつまでも安心して生活を営んでいけるような「お手伝い」を社会福祉協議会が行っているということです。地域の人々と関係機関のネットワークを形成することで、自ずと地域に必要なものが見えてくるのだと思います。そして、地域の皆様のお力を借りて、共に涌谷町という町を作り上げていることを学びました。

今回の実習で得たものを今後の学習に活かし、

人と人との繋がりを大切にできる社会福祉士になりたいと思います。熱心にご指導してくださった職員の皆様、そして温かく見守ってくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。



## 訪問介護員2級養成講座

7月24日～9月28日

宮城県指定訪問介護員2級養成講座を開催し、受講生25名が無事全過程を修了し資格を取得しました。

来年度より、訪問介護員養成講座の内容（名称等含み）が変更となることもあり、町内だけでなく、町外からも多くの方が受講しました。講義66時間、実技演習34時間、現場実習30時間、延べ130時間の受講が必要であり、最後は筆記試験の合格をもって資格が授与されました。就職の為、家庭での介護の為、自己啓発の為と理由は様々ですが、講義、演習にと真剣に取り組みました。





～わたしたちは、あなた「You:ゆう(利用者:家族:地域住民)」と共に、  
あなたの生活「Life:らいふ(生活:人生:生涯)」を大切にします～

**ゆうらいふ**  
社会福祉法人 涌谷町社会福祉協議会

**通 信**

## 『マッサージボランティア ～ゆうらいふデイサービス～』



震災の影響により涌谷町小里区に移り住んで来られた、あづま治療院院長のご協力でマッサージをしていただいています。

普段、マッサージをするという習慣のない利用者も興味を示し、実際にやってもらくと「肩が軽くなった」「膝が柔らかくなり、歩くのが楽になった」と喜びの声が多く聞かれています。

今後も利用者へのサービス向上に努めていきたいと思ひます。



## ゆうらいふ敬老会開催！



9月16日(日)にグループホームと特別養護老人ホームの入居者とご家族が参加され、ゆうらいふ敬老会を盛大に行いました。当日は式典の部と余興が行われ、式典ではゆうらいふの最高齢者と喜寿、米寿の方々に記念品が贈られ、鏡開きをして長寿を祝いました。

式典後は、社会福祉協議会の理事でもある今野武則氏が代表の『民謡香湧会』による余興が行われました。手拍子をする方や、ボランティアの方の唄に合わせて口ずさむ方もあり、楽しい時間を過ごすことができました。

昼食は、ゆうらいふの厨房からの敬老を祝う弁当が提供されました。グループホームは各ユニットで、特別養護老人ホームは研修室で、家族の方と一緒に食べ、お祝いしました。



「ありがとうございます」と笑顔でお話して頂きました。ご家族からは、「無事に誕生日を迎えられたことが嬉しく思います。農業をしながら介護してきて、大変な事もありましたが、今後も元気に過ごして欲しいと思います。また、長生きの秘訣は、井戸水ではないかな。」と話がありました。

百歳を迎えられ、今後も元気に長生きして欲しいと思います。



「自宅で生活させたい」という思いから、自宅で訪問介護、訪問看護、訪問入浴を利用しながら暮らしています。

9月25日は、訪問介護の利用日で、ケアマネージャー、ヘルパー、入浴スタッフから、お祝いの花を贈ると、嬉しそう

祝百寿

「自宅で生きがい」



# 「会費」のご協力 ありがとうございました

本年度も涌谷町社会福祉協議会の趣旨にご賛同いただき、涌谷町の豊かな地域福祉づくりの為、皆様から年会費の協力を頂きました。会員皆様のご支援とご協力に心から御礼と感謝を申し上げます。

又、各地区の地域福祉会長・福祉推進員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

一般会費 5,395,500円(4,697世帯)

※一般会員には、減額、免除世帯も含まれます。

特別会費 59件(97口)「個人・企業」

賛助会費 109件「個人・企業」

**総額 6,207,500円**

(平成24年10月20日現在)

## 心温まる善意ありがとうございました。(平成24年6月5日～平成24年10月16日まで)

### 寄付金

- つくし会様 ..... 100,000円
- 4区 大橋荘治様 ..... 100,000円
- 匿名様 ..... 100,000円
- 上郡1区 杉崎啓志様 ..... 1,312円
- 涌谷町芸能ボランティアの会様 ..... 50,000円
- 3区 氏家 昭様 ..... 100,000円
- 北海道 初山邦夫様 ..... 10,000円
- 民謡香湧会様 ..... 50,000円

### 寄付物品

- 下町区 木村和生様 ..... 紙おむつ8袋
- 岸ヶ森区 石川テル子様 ..... 手作りボンボン154本  
お手玉175個
- 山形県 瀧川昭義様 ..... 白米60kg
- 匿名様 ..... 紙おむつ7袋
- 匿名様 ..... ミニバラ300本
- 脇区 伊藤勝秋様 ..... 新米60kg
- 匿名様 ..... 紙おむつ7袋・下着等5着

## 総合相談のお知らせ

### 生活相談所

日常生活で心配事、困りごとはありませんか？  
お気軽にご相談ください。(秘密厳守！)

開設月日	
11月28日(水)	12月26日(水)
1月23日(水)	2月27日(水)

- ★相談員：全日程とも「生活相談員」2名体制
- ★相談時間：午後1時から午後3時
- ★相談場所：高齢者福祉複合施設  
「ゆづらいふ」相談室

※相談日以外にも、ご相談お受けします。  
その時は事前に予約が必要です。

## 共同募金運動展開中

(期間10月1日～12月31日)

赤い羽根共同募金へのご協力  
ありがとうございました。



「10月1日の街頭募金の様子」

### 歳末たすけあい募金のご協力について

12月から、「歳末たすけあい募金運動」が実施されます。本運動は、新たな年を迎える時期に支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう展開するものです。

皆様のご家庭に戸別募金の協力にお伺いしますので、ご理解ご協力をお願いします。

期 間 / 12月1日～12月31日  
募金方法 / 戸別募金・窓口募金等

秋も深まり、朝夕は大分冷え込むようになりました。皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。最近、新聞やテレビで報道されておりますように、年々ひとり暮らしや夫婦のみの世帯が増え、全国的に孤独死が大きな社会問題になっています。誰でも、住み慣れた地域で、仲間とつながりを持ちながら、安心して暮らしたいと思う思いは、多くの人々の願いだと思います。従って、地域での支え合いが強く、求められているのではないのでしょうか。

広報委員

編集後記